

謹賀新年



年頭のご挨拶 あいきつ

昭和町長 角野 幹男

町

民の皆様におかれましては、平成28年の輝かしい新春を健やかに迎えのことでお慶び申し上げます。

さて、昨年(2016年)の二月に行われました昭和町長選挙におきまして、私は、三期目の町政運営を町民の皆様から託されました。三期目もほぼ一年が経過するなか、本年四月からスタートする第6次総合計画の策定に向けて取り組み、また地方版総合戦略である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「人口ビジョン」を昨年10月に策定いたしました。この総合戦略に位置づけた施策の一つとして、子育て世代の皆様から要望をいただいた子どもの医療費の無償化を中学三年生まで拡充いたしました。平成28年度はこれらの計画に沿って行政運営を行い、住みよい昭和町のさらなる発展と成長を図っていきたいと思います。

本町は、これまでの土地区画整理事業や子育て支援策の展開、釜無・国母両工業団地への企業誘致などにより人口は増え、成長しているまちであります。とはいえ、日本全体では人口減少や少子高齢化が著しく、本町でも少子高齢化は着実に進み、遠からず人口減少に転ずることは避けられません。私は、このような状況下におきましても、町民の皆様のご協力をいただきながら、県下に誇る住みよい昭和町を、選ばれるまちとして、持続可能な成長とともに継続、発展させたいと思っています。それは、10年先20年先を見据えた地

方創生の先にある「未来へつなぐまち」を創っていくことであります。「未来へつなぐまち」とは、単独町の利点を活かして町民の皆様と行政とが同じ方向を目指し、まちづくりを行うことであります。そして、議会ははじめ区長会、区の役員の皆様や各種委員、各種団体などのご理解とご協力によりまちづくりを行い、本町の豊かさを揺るぎないものにするのであります。そのためには、町の財政基盤のお一層の強化を図り、町民ニーズに応える施策を展開し、町民の皆様が誇りを持てる昭和町、活力ある昭和町として、未来へと繋いでいけるよう取り組んでいく必要があります。

これらを踏まえ、具体的には、四月までに常永小学校の児童数増加に対応した教室数の確保を行い、四月以降の新年度には、放課後児童クラブなどの子育て支援策やふるさと納税の拡充、各種事業の精査に伴う受益者負担の適正化、また高齢者福祉や障がい者福祉のほか、開発許可権限の移譲などに取り組み、子どもから高齢者まで切れ目のない施策を展開し、小さくても豊かなまちを未来へとつなぐ礎を創っていきます。

昨

年は、葎崎市出身の大村智先生が、ノーベル医学生理学賞を受賞されたニュースが大きく報道されました。スポーツでは、ラグビー日本代表が優勝候補を破るなど大活躍しました。大村先生は小さい地方の経験を活かし、ラグビー日本代表は外国の大型選手に対して小さい力を合わせて対抗し、いずれも大きな花を咲かせました。翻って本町では、昨年(2016年)から全ての町内の小中学校がコミュニティスクールとなりました。コミュニティスクールは、地域の力で学校を育て、学校の力で地域を育てる、地域と学校が相互に成長しあう仕組みです。本町は、県下一面積の小さいまちではありますが、町民の皆様一人ひとりの力を結集し、全国に誇る大きな魅力あるまちを創りたいと思います。

ことしは「申年」。「申」の漢字は「伸ばす」に由来するそうです。本町は、四月から第6次総合計画がスタートし、地方創生の総合戦略もスタートしています。また町制施行45周年の年でもあります。未来へつなぐ力を伸ばし、人もまちも、未来に向かって大きく成長できる始まりの年となるよう願っています。平成28年が町民の皆様にとって健やかに、そして心豊かに、飛躍の年となるよう願います。年頭のご挨拶といたします。

ひのえ さる
平成28年 丙申



昭和三井 議長

新年明けましておめでとうございます
町民の皆様におかれましては
夢と希望に満ちた新春を
ご健勝にてお迎えのこととお慶び申し上げます

- 新年あけましておめでとうございます
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 河田あけみ | 樋口敏夫 | 石原高明 | 金丸富一 |
| 遠藤辰男 | 河住保茂 | 中澤康夫 | 依田茂巳 |
| 田中博愛 | 鷹野一雄 | 石原一好 | 堀 門太 |
| 塚原将司 | 林 和仁 | 葉袋義久 | |

昨年を振り返ってみますと、旭化成建材による工事データの改竄問題は大手企業の信用を裏切る大きな痛手となり、県内でも数件確認されているなど、まだ熱の冷めぬ話題であります。また、国外ではIS（過激派組織イスラム国）等によるテロ事件がいたるところで勃発しており、日本人も犠牲になる事件が起き、国として今後も対策を万全にしていかななくてはなりません。

未来へ挑戦する内閣として発足した第3次安倍改造内閣。複雑化する外交事情やTPP問題、発生後、五年目となる東日本大震災、また平成27年関東・東北豪雨と称されるほどの甚大な被害を被った被災地復興支援の問題等々、国が抱える諸問題は山積しております。そして今年一月からいよいよ活用されるマインバー制度や、さらにその先に目を伸ばせば来々四月には消費税増税が決定されております。国民の負担、国政への不安は解消されず、依然景気回復の実感乏しいままです。何とか日本経済

の強化に努め、国民のための政策に今後も期待したいものです。

明るいう出来事では山梨県市出身の大村智氏がノーベル医学・生理学賞に輝き、全国的に名が知れ渡ったことは同じ県民として、とても誇り高いことです。スポーツ面においては五郎丸歩選手の活躍を期に一気に日本中が熱くなったラグビー界。また、2020（平成32）年に開催予定の東京オリンピックに向け、各種目の選手達の日々練習に精進している様子は国の活力に繋がるような気がいたします。

また、昨年は統一地方選挙の年であり、県では後藤斎知事が県政を担うことになりました。そして当議会も改選を迎え、新しい議会が誕生しました。そこで私は議長に就き、最初の新年を迎えることとなりましたが、改めて、これまでの先輩議員が築かれた良き慣習などを引き継ぎ、今後も議会の果たすべき役割を十分認識し、各議員が活発に活動できるよう努め、公正で円滑な議会を進

めていく所存であります。

その一つに議会改革の一環として始めた山梨学院大学との提携は、今年九年目を迎えます。大学教授からは町の実情に合った課題に基づき、対応策を学んでいます。学生とのワークショップでは毎年新鮮で、かつ、するどい提案が出され、議員も刺激を受けております。その提案を無駄にすることなく、議会として生かし、今後も活性化させていきたいと思

また、昨年は議会において八月に議会災害対策本部設置要綱に基づき、四回目となる防災訓練を行いました。議会だよりにも掲載しましたが、議員全員がAEDの操作を含め、人命救助のための応急手当の基本を学びました。万が一のときに備え、訓練を重ねることで議員一人ひとりが自助、共助、公助の意識を高め、町民の「安全、安心な町づくり」に貢献していきます。

そして、当議会特有の井戸端会議もた全国でも珍しい区長会との座談会も



昭和三井 議長

新年明けましておめでとうございます
町民の皆様には
輝かしい平成二十八年の新春を
ご健勝にてお迎えのこととお慶び申し上げます

- 新年あけましておめでとうございます
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 河田あけみ | 樋口敏夫 | 石原高明 | 金丸富一 |
| 遠藤辰男 | 河住保茂 | 中澤康夫 | 依田茂巳 |
| 田中博愛 | 鷹野一雄 | 石原一好 | 堀 門太 |
| 塚原将司 | 林 和仁 | 葉袋義久 | |

私は、昨年11月から教育委員長を拝命いたしました。多岐にわたる教育行政の諸課題に対し微力ではありま

すが、情熱と使命感をもって努力したいと思っております。町民の皆さまにはご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

教育委員会は、町内小中学校においての学校教育と生涯スポーツを含む社会教育が大きな柱となっております。その柱の一つである学校教育については、「安全・健康・学力・信頼・参加」をキーワードとした昭和の基本理念のもと、「自ら学び自ら高める創造性にあふれる人づくり」と「郷土を愛する心と他者を思いやる心を持ち、心身ともにたくましい人づくり」を目標として、これを達成、具現化するため、より質の高い教育の実現と家庭・学校・地域が理解し合い連携し合って、安全・安心な信頼される学校づくりを目指していきたいと思

具体的には、昨年

校で導入したコミュニティ・スクールの充実に向け、さらに学校と地域のつながりを深め、「地域とともにあゆむ学校」として、子どもたちが豊かに学べる教育環境の整備を推進していきたいと考えています。また、学校施設の面においては、各校の経年劣化による修繕や、とりわけ常永小学校の児童数の増加による増改築などは継続して実施していかなければならないと考えています。なお、平成30年から実施される小

学校の英語の教科化へ向けての対応として、昨年

から町内全小中学校と甲府昭和高校が連携して取り組んでいる英語教育強化地域拠点事業については、言語教育という枠を越えて、広く国際理解教育という視点まで広げられるよう教育委員会としてもその成果を大いに期待し、サポートしていきたいと思

います。そのほか、道徳教育の推進や、地域や関係機関と連携した交通安全対策等に引き続き取り組むとともに、児童生徒の学

力向上のための改善策など、多くの課題に積極的に取り組んでいきたいと思

います。もう一つの柱であります社会教育については、健康で豊かな生活が営むことができるような生涯スポーツや文化芸術の振興について、今後さらに進む少子化、超高齢社会を見据えた一層の充実と環境整備が求められます。大きな課題である生涯学習拠点施設の整備についても、引き続き情報収集や調査・研究を進めていきたいと思

います。生涯学習においては、町の中央公民館、町立図書館、温水プールや総合体育館等社会教育施設が連携し、町民のニーズに応える各種事業の質的向上に努めるとともに、地域の結びつきを深めていきたいと思

います。また、風土伝承館「杉浦醫院」や、町内文化財の保存や歴史を継承し、郷土を愛する心を育み、町の未来をつくりあげる礎となるよう努めていきます。

生涯スポーツにおいては、平成24年から押原公園で実施している「ふれあいラジオ体操」など日常生活に密着した生涯スポーツの振興やスポーツ・レクリエーション施設の整備に努め、活動の充実を図ります。また、子どもクラブ・スポーツ少年団などの自主的な活動の内容充実や主体的な取り組みを支援し、それらの中で指導者の育成も図っていきたく

と考えています。教育委員会は、香り高い歴史と伝統に培われた本町の教育行政のより一層の推進に万全を期す所存であります。関係各位をはじめ町民の皆さまのご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

より一層の推進に万全を期す所存であります。関係各位をはじめ町民の皆さまのご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



確定申告の準備はお早めに！

所得税の確定申告と、住民税の申告の時期が近づいてきました。所得税の確定申告書は甲府税務署へ、住民税の申告書は町へ提出していただきます。

今年の申告受付期間は、2月16日(火)～3月15日(火)です。申告の準備は、お早目にお願います。

なお、町で行う地区別の申告相談日程等は、次号、2月号でお知らせします。

2/16(火)
～
3/15(火)

甲府税務署からのお知らせ

甲府税務署の申告書作成会場

甲府税務署では、所得税・個人消費税・贈与税の申告書作成会場を次のとおり開設します。

相談時間

午前9時～午後5時
※受付は午前8時30分から
※混雑時は早めに締め切り

期間

2月16日(火)～3月15日(火)
※土曜、日曜、祝日を除く
※ただし2月21日(日)と2月28日(日)は開設
※作成済みの申告書の提出は、1月4日(月)から受付

場所

甲府税務署
(甲府市丸の内二丁目1番18号 甲府合同庁舎5階)



マイナンバーが必要です

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行により、今回から、申請・届出書類には、「個人番号カード(マイナンバーカード)」の写しまたは通知カードと身分証明書の写しの添付が必要となります。



所得税の還付申告

給与所得のある方(源泉徴収税額のある方)で、昨年中に次に該当する場合、確定申告することで、源泉徴収された所得税が還付されることがあります。

- ① マイホームを借入金で取得した
- ② 多額の医療費を支払った
- ③ 災害や盗難にあった
- ④ 年の途中で退職し年末調整を受けていない

1月下旬から申告書を発送

申告書の発送は、1月下旬の予定です。ただし、前年の確定申告でe-Taxや確定申告書等作成コーナー等を利用された方は、行政コスト削減のため、確定申告書・決算書等に代えて「確定申告お知らせはがき」を発送します。

郵送で提出する場合

申告書を郵送される場合で申告書の「控」が必要な方は、「控」についても必ずボールペン等で記載していただくとともに、宛名を記入した返信用封筒に切手を貼って、忘れずに同封してください。

はじめてみませんか「e-Tax」

e-Taxを利用して自宅やオフィスからインターネットを利用して所得税や消費税の確定申告ができます。また、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で作成した申告書もe-Taxを使って送信できます。



ご利用には、電子証明書の取得やICカードリーダーライターの購入などの事前準備が必要となります。詳しくは、国税庁ホームページで確認ください。

国税庁ホームページ

<http://www.nta.go.jp>

問い合わせ

甲府税務署 ☎254・6105
役場税務課 ☎275・8265

自動交付機の利用時間を延長

町では、役場庁舎入口に「自動交付機」を設置し、休日や役場の閉庁時間でも「住民票」と「印鑑登録証明書」の発行を行っています。

このたび、町民の皆様のご要望にお応えし、1月12日(火)から自動交付機の利用時間を延長します。これまで平日の午前9時から午後7時までの利用時間でしたが、これからは午後9時まで利用できます。ただし、土日祝日は、従来どおり午後5時までとなりますので、ご注意ください。



自動交付機設置場所

昭和町役場 庁舎正面入り口

自動交付機で発行できる書類

住民票、印鑑登録証明書
※戸籍謄本やその他の書類は自動交付機では発行できません。
役場開庁時間内に担当課窓口にてお手続きください。



自動交付機の稼働時間(変更後)

午前9時～午後9時(土日祝日は午後5時まで)

自動交付機の利用に必要なもの

町民カードと町民カードに設定した4桁のパスワード
※「町民カード」は、印鑑登録を行った町民の方で希望の方に交付しています。
役場開庁時間内に町民窓口にてお手続きください。



問い合わせ 町民窓口課 町民係 ☎275・8264

初・開・催！

差し押さえ動産の合同公売会

山梨県と県内市町村では、税の滞納のため差し押さえられた動産を、次のとおり公売します。県内での合同公売会は初開催で、昭和町も参加します。

どなたでも参加できます(滞納者本人などを除く)ので、ぜひご参加ください。

日時

1月30日(土)
[受付] 午後0時30分～1時20分
[入札] 午後1時30分まで
[開札] 午後1時30分から

場所

甲府市総合市民会館 山の都アリーナ
(甲府市青沼三丁目5番44号)

参加資格

どなたでも参加できます。
ただし、差し押さえられた本人や家族、差し押さえ業務従事者など、関係者は参加できません。

持ち物

運転免許証等の身分証明書(本人確認のため)
落札品の購入代金(現金)

問い合わせ

昭和町役場 収納課 ☎275・8918
山梨県総合県税事務所 滞納整理部
企画・総括担当 ☎261・9120



相談日

▶町長と語らいのとき
日時：1月6日(水)
午後1時30分～4時
場所：役場庁舎1階 町長室
*前日までにご連絡ください
(総務課 ☎275-8153)

▶消費生活無料相談(※)
日時：1月8日(金)
午前10時～正午
場所：役場別棟2階 小会議室
(企画財政課 ☎275-8154)

▶行政相談(※)
日時：1月20日(水)
午後1時～4時
場所：中央公民館2階 会議室
(企画財政課 ☎275-8154)

▶教育相談(※)
日時：祝日を除く火・水・木
の午前9時～午後4時
場所：中央公民館2階 相談室
(町青少年育成カウンセラー
☎275-6951)

▶心配ごと相談
日時：1月13日(水)
午後1時30分～3時30分
場所：社会福祉協議会で案内
*あらかじめご連絡ください
(昭和町社会福祉協議会
☎275-0640)

▶結婚相談(※)
日時：1月9日(土)・23日(土)
午後1時30分～4時
場所：総合会館2階 相談所
(昭和町結婚相談所
☎275-1881)

▶障がい者相談員出張相談(※)
日時：1月8日(金)・22日(金)
午前9時～正午
場所：総合会館1階
(福祉課 ☎275-8784)

※印の相談は事前連絡不要です
直接会場にお越しください

お知らせ

▶ボカシつくり会
日時：1月20日(水)
午後1時～
場所：総合会館裏
(環境経済課 ☎275-8355)

ご意見

▶町へのご意見箱(ひとりの声)
ご意見など、町政についてお
気付きのことをお寄せください
○ホームページ
http://www.town.showa.
yamanashi.jp/chosei/koe.php
○郵送
〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町役場 総務課 宛

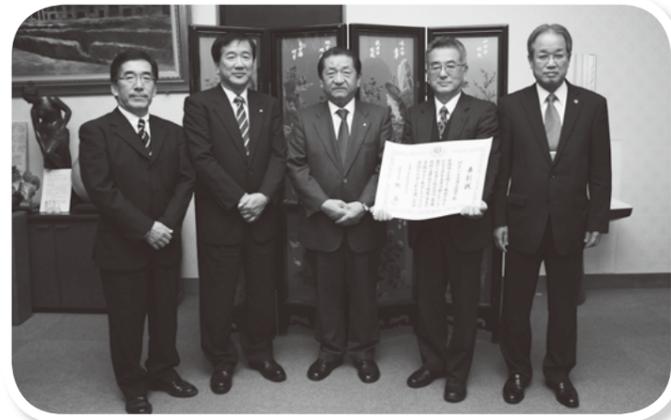


押原小学校運営協議会 文部科学大臣表彰受賞

12月3日(木)、押原小学校運営協議会が、学校・家庭・地域の連携推進に優れた成績と貢献を果たしているとして、文部科学大臣表彰を受賞しました。

押原小学校では、平成26年から町内で一番最初に「コミュニティ・スクール」の指定を受け、学校・保護者・地域住民が共に知恵を出し合って、地域とともにある学校づくりを進めています。「学校運営協議会」は、コミュニティ・スクールの運営や基本方針に、保護者や地域住民が関わり意見を反映させるための核となる組織で、従来の保護者組織であるPTAをはじめ、広く地域住民や地域組織の方々、教職員などが参加し、コミュニティ・スクールの運営を担っています。

このたび、先進的なコミュニティ・スクールの活動に積極的に取り組み、地域連携協力に貢献していることなどが評価され、今回の受賞となりました。



押原小学校長 太田 充 氏(左端)、学校運営協議会会長 両宮 敏明 氏(右から2番目)

「中学生の税についての作文」を表彰

町では、租税教育推進のため、昨年度から「中学生の税についての作文」の表彰を行っています。今年度も、11月16日(月)、町長室において、優秀者の表彰式を行いました。今年の表彰者は、次のとおりです。

なお、租税教育に貢献しているとして、11月11日(水)、昭和町教育委員会が甲府税務署長の表彰も受けました。



- | | | |
|------|----------------------|----------------------|
| 町長賞 | こみ かのん
五味 佳音さん | 「税で支える日本」(写真中央) |
| 教育長賞 | まえざわ ゆうすけ
前澤 佑輔さん | 「日本の税と未来」(写真中央左) |
| | のなか しょうた
野中 昭太さん | 「消費税の今後」(写真中央右) |
| 入賞 | たまぎきる な
玉崎 瑠菜さん | えんどうめい な
遠藤 芽衣奈さん |
| | たなか
田中 ことはるさん | いしかわりょう
石川 遼さん |

保護司 井上武 氏 法務大臣表彰受賞

11月13日(金)、甲州市民文化会館において行われた山梨県更生保護大会において、保護司の井上武氏(上河東)が、法務大臣表彰を受賞されました。
井上氏は、平成9年7月から現在まで18年以上にわたり保護司として活躍され、犯罪や非行を犯してしまつた人の立ち直りの支援や見守り、犯罪防止などの社会貢献活動に尽力されてきました。このたび、永年にわたるこれらの功績が評価され、受賞となりました。



井上 武 氏(上河東)

保護司とは
法務大臣から委嘱される民間のボランティアで、地域に貢献されている方などが任命されます。犯罪や非行からの立ち直りの指導や支援、犯罪や非行防止の啓発活動などを行っています。

前議会議長 萩原馨 氏 県政功績者表彰受賞

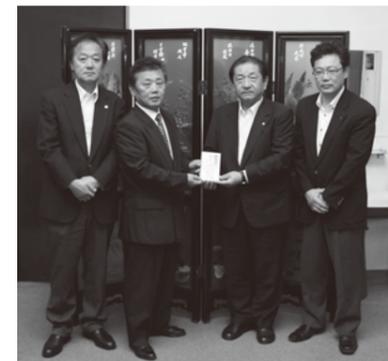
11月20日(金)、前昭和町議会議長の萩原馨氏(河西)が、県政功績者表彰を受賞されました。
萩原氏は、平成11年4月に昭和町議会議員に初当選して以来、平成27年4月まで連続4期16年間議員を務められ、永年にわたり町政の発展に尽力されました。特に、議会議長としての在任中には、県内初となる「議会モニター制度」を制定し議会改革を推し進めるとともに、議会主催で「町制施行40周年記念体験発表会」を開催し、議会と町民との関わりを重視した「開かれた議会」の実現に議会の中心的存在として手腕を発揮するなど、地方自治の発展に尽くされました。このたびこれらの功績が評価され、受賞となりました。



萩原 馨 氏(河西)

9月29日(火)、今年度還暦を迎える昭和46年3月押原中学校卒業生の有志の皆様から、「昭和町の行政のために」と金10万円の寄付をいただきました。善意ありがとうございました。

同級生を代表して
来庁した皆さん



善意
ありがとうございます
ごぞいます



まちのわだい

町内の「地域情報」を紹介するコーナーです。
あなたの身近な話題、お待ちしております♪
(企画財政課 広報担当 ☎ 275-8154、kikaku@town.yamanashi-showa.lg.jp)



朗読という楽しみ方

「朗読」は、感情や情感をこめながら声に出して本を読む読み方で、「黙読」とは異なる本の楽しみ方です。町の「朗読を学ぶ」講座を受講された皆さんが、「朗読サークル ふくらすずめ」を結成し、11月20日(金)、初めての朗読会が開かれました。初めてにもかかわらず、多くの聴衆が集まり、著者と読み手がつむぐ物語に、耳を澄ませていました。なお、朗読会への問い合わせは、昭和町立図書館(☎275-7890)まで。



クリスマスの夕べ



12月5日(土)、清水新居公民館で「第26回クリスマスふれあいの夕べ」が開催されました。

このイベントは、清水新居区の子供たちが小中合わせて6つの学校に分散して通っている事情から、子供たちや区民の交流の場を設けたいと始まったと言います。

恒例の芸能発表では、合唱サークルや子供クラブの演奏が披露

されたほか、いきがクラブやぼかしの会の作品も展示。公民館いっばいに区民が集い、クリスマスの交流を楽しんでいました。



校舎でクラシックコンサート♪



▲ 昭和町クラシックの夕べ

ベンジャミン・ツィアフォーゲルさん(右)、
矢野正浩さん(中央)、廣瀬史佳さん(左)

10月19日(月)、押原小学校の多目的ホールでクラシックコンサート「昭和町クラシックの夕べ」が開催されました。このコンサートは、今回で2回目。コンサートマスターや指揮者として世界的に活躍する音楽家の演奏を町民の皆さんに聞いていただきたいと、今年度も開催されました。

また10月29日(木)には、押原小学校の道徳公開授業にあわせ「コミュニティ・コンサート」も開催されました。以前は教育に関する講演会などを開催して



▲ コミュニティ・コンサート

萩原舞さん(右)、日原早樹さん(中央右)、
手島未沙紀さん(中央左)、伊藤駿さん(左)

が、昨年度から、「コミュニティ・スクールとなった押原小学校らしい催し」を企画しています。

今回、押小卒業生の若き音楽家とその友人たちによるコンサートを企画。奏者から子供たちへ、「どうして音楽家になったのか」という体験談も語られ、素敵な音楽とともに、先輩から夢に向かって努力する姿勢も学んでいました。

タヌキ現る！

12月、なんと河東中島で「タヌキが出た！」と写真が舞い込み、取材に伺ってきました。

発見したMさんによると、民家の庭先で、落ちている柿を食べていたそうです。よほどお腹が空いていたのか、4~5mくらいに近寄っても逃げなかったとのこと。「都市化が進む昭和町でまさかタヌキに遭うなんて…」とおどろきの様子。



▲ 柿に夢中のタヌキ (Mさん撮影提供)

近くの山から迷い出たのか、もともとすんでいたのか分かりませんが、もし見かけたら暖かく見守ってあげてくださいね(^-^)

ダリアの木？

11月、西条二区の方から、「近所に4~5mもあるダリアがある！」と耳にし、取材に伺ってきました。

現地を訪れると、家よりも高く伸び、満開に花を咲かせた1本の木が目に見え、飛び込んできました。この花を目にしてほれ込んだ近所の方が、空き地に植えて世話をしてくれているそうです。「皇帝ダリア」という品種だそうですが、まるで木のようなすがた、普通のダリアと同じ多年草とのこと。

とても育てるのが難しいそうですが、晩秋の空に咲く満開の花は見事で、圧巻ですね！



消防団員だって先生

10月21日(水)、西条小学校で、地元の消防団員が消防団活動や消防器具を紹介する授業を行いました。

消防団員が授業に訪れるのは、昨年に続いて2回目。地域のために働く人たちを学ぶ2年生の生活科の授業で、地元の消防団員に先生をしてほしいと、知り合いの消防団員に声を掛け、実現しました。

ちょうど今年からコミュニティ・スクールとなった西条小学校。これからはいろんな形で、地域と学校が関わっていると良いですね。



小中高クリーンキャンペーン



11月4日(水)、町の小中高校の子供たちが合同でクリーンキャンペーン(清掃奉仕活動)を行いました。

この活動は、生きる力を育む「キャリア教育」の一環として、例年、小中高が連携して開催しており、今回で4回目を迎えます。なお清掃活動は、小学校の学区ごとに行い、押原公園、西条小、常永小などの周辺を、それぞれ高校生がリーダーとなり、小中高校生が一緒になって班を作って行いました。